

## 第70回朝活かみいち の記録(メモ)

進行役：保江弘文さん

テーマ：ステキなご朱印旅のススメ

日時：17年6月15日(木)7時～8時

場所：M's cloud（上市町文化研修センター）

参加者：15人（町内9人、女性7人、初参加1人）



◆ 今回は半数近くの女性の参加があり、御朱印に寄せるが期待が大きく、ロマンが会場に漂っていました。そんな雰囲気、朝活がスタートしました。

まずは、自己紹介を兼ねて御朱印についてコメントを各人から寄せられました。いくつかを記します；

- ・大切にしている。あの世にもって行きたい旨の話。
- ・御朱印は貴重なものです。
- ・御朱印は必ずもらってきます。
- ・御朱印に興味あり。聞きにきました。
- ・若い時神社仏閣に行ってましたが、そのときは御朱印を知らなかった。知ってればもらったのに残念。（今からでも遅くないですとの声あり）
- ・鉄道マニアです。ので者を集めるの好きですので、御朱印にはまれば(神社仏閣参拝目的を越えて)御朱印をもらいに全国に出かけます。
- ・神社とお寺で御朱印はどう違う。
- ・そもそも御朱印は何のために。

◆ 本題が始まりました。

もともと御朱印は参拝の証です。お守りや今流行のスタンプとも違ってます。大事なものです。と切

り出されて、御朱印や御朱印長そのもの話がいかのようにはありました。

- ・お参りした証です。ので御朱印を何回もらっても大丈夫です。
- ・御朱印帳はお寺用と神社用とは分けない。
- ・正月は書いてもらえないように思われがちですが、書いてもらえます。
- ・上市では御朱印を書いてくれるお寺は大岩と眼目のお寺だけです。

◆ その後、各地のお寺さんや神社について御朱印を含めてレポが紹介されました。御朱印物語といったところでした。

- (1)京都の宝蔵寺では、朝の10時から既に長い列。
- (2)桐生市の宝徳寺では、かわいい御朱印
- (3)東京都港区鳥森神社では、元旦用のものもある。
- (4)浜松市龍潭寺(りゅうたんじ)は、直虎の寺として有名である。大河ドラマ放映により、これまで閑散な風景が一変して今は大賑わい。

◆ 一通りに話が終わった後に、進行役が持っている御朱印帳数冊を皆さんにお見せして歓談いたしました。また、参加者からの質問を受け答えもありました。以下に、皆さんの会話を拾ってみました。

- ・なぜ御朱印にはまったのですかについては、上杉謙信の春日山城訪問のとき上杉神社にも立ち寄った際に御朱印をみてからはまりました。
- ・今はマブがitサイトがいくつも立ち上げています。旅行の際には、そんなサイトを見たり、関連のブログを見たりして、開門時間や見所を見て行きます。
- ・なぜ御朱印をあつめるのでしょうかについては、訪問(参拝)の証であり、何となく心境としてはスクラップの川なのかもしれません。
- ・あちこちで話の渦がまき起こりました。楽しい歓談でした。

◆ まとめとして：

御朱印たびをしたくなりましたでしょうか。地元からぜひ始めてください、と締めくくっておられました。



#### ◆ 質疑応答からアフタートークへ

今回は進行役の話題提供中にもフオーとのトークリーがあり、いつしかアフタートークになっていました。進行役の保江さんが、これまでほかの朝活で2回ほどやっておられて場なれや話なれされておられるのですが、今回は実にリラックスできて楽しめましたとの事でした。それもそのはず、朝活では「朝活は本来こうした姿です」といった会場からの声もあり、本当に和やかであり、かつたのしい一時でした。皆さん、ありがとうございました。

